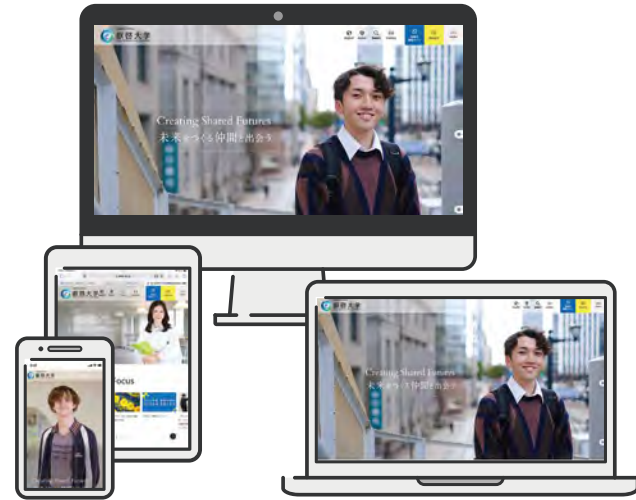


入試に関するイベントの情報など、

大学の最新情報は

大学公式ウェブサイト・SNSでお知らせします。



大学公式ウェブサイト

<https://www.eikei.ac.jp/>



受験生情報サイト

<https://admissions.eikei.ac.jp/>



公式 SNS アカウント



Instagram
@eikei_univ



X
@EikeiUniversity



Facebook ページ
@EikeiUniversity

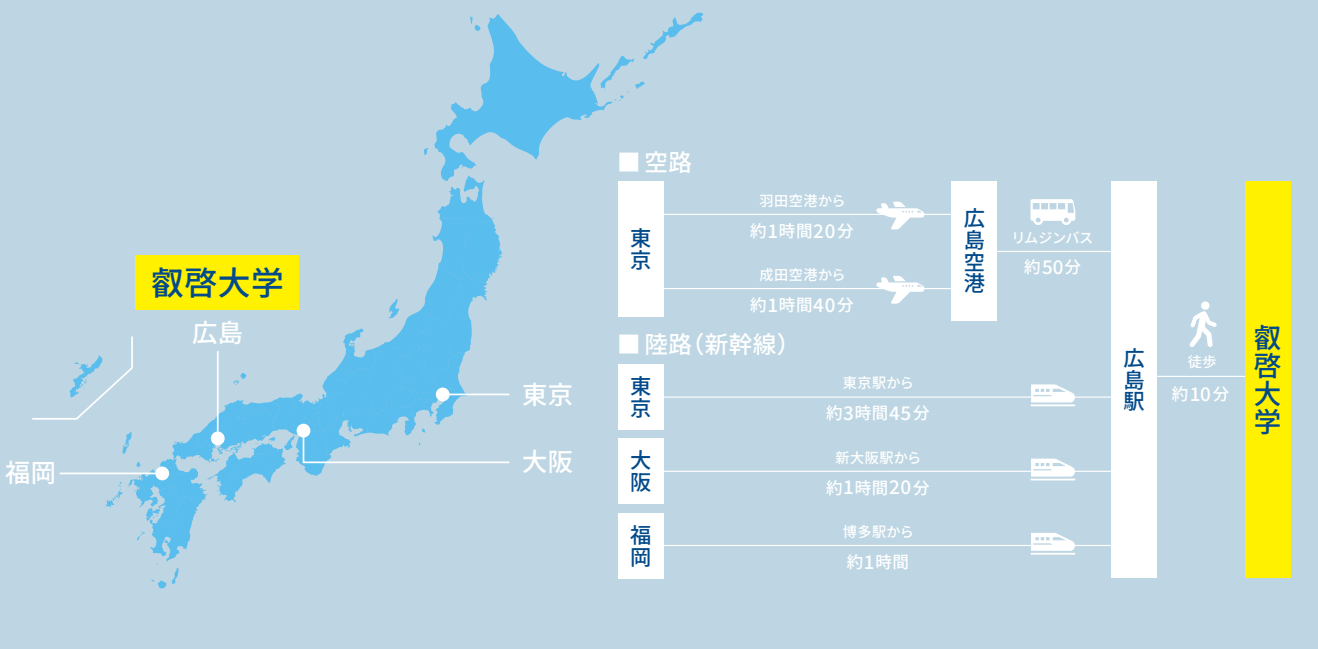


YouTube
@eikeiuniversity



交通アクセス

Access to the campus



EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA 2027

ソーシャルシステムデザイン学部
ソーシャルシステムデザイン学科



Creating Shared Futures

未来をつくる仲間と出会う



CONTENTS

- | | | | | |
|----------------------------|------------------------------|----------------------------|----------------------------------|---------|
| 01 ブランドメッセージ | 08 カリキュラム・ポリシー／アクティブラーニング | 15 学内・学外での「実践」-体験・実践プログラム- | 25 キャリアサポート | 32 周辺環境 |
| 03 在学生トーク 観啓大学の特長と魅力について語る | 09 修得と実践の「基礎」-基礎学修科目- | 17 留学 | 27 プロジェクト -Social Design Center- | 33 入試情報 |
| 05 理念 | 10 知識・スキルの「修得」-実践英語・基本ツール科目- | 19 卒業プロジェクト | 29 キャンパスライフ | |
| 06 深耕と協創のスパイラル／学長メッセージ | 11 知識・スキルの「修得」-リベラルアーツ科目- | 21 カリキュラム | 30 ライフスタイル | |
| 07 5つのコンピテンシー／学部長メッセージ | 13 学内・学外での「実践」課題解決演習科目(PBL) | 23 教員紹介 | 31 施設紹介 | |



CHECK

YouTube 動画
「5分でわかる観啓大学！」

叡啓大学の特長と魅力について語る

教室が「対話の場」になる。

余村 叡啓大学の学びでまず実感するのは、教室が「対話の場」になっていることですね。アクティブ・ラーニングが基本で、講義を聞くというよりも、議論を通じて自分の考えを深めていくスタイルが日常です。

青木 少人数制ということもあって、学生一人ひとりの意見が真剣に受け止められる空気がありますよね。先生との距離も近いので、講義中でも気軽に質問したり議論したりできる。

余村 そうそう。とくに印象的なのは地域協働論です。「なぜいま、若い世代が地域課題に向き合う必要があるのか」を根本から問い直してくれる授業で、自分の実践活動に取り組む意味が言語化されていく感覚がありました。

青木 叡啓大学のカリキュラムは、文系・理系を横断するリベラルアーツ科目に加え、実践英語、データ分析、デザイン思考などを通じて知識やスキルを身に付け、それらを課題解決演習(PBL)や国内外でのインターンシップ、ボランティア活動などの体験・実践プログラムで活用できる点が特長です。修得と実践、両輪で学べる設計になっています。

余村 知識として覚えるだけでなく、社会で「使える力」に変えていくのが叡啓大学らしさですね。

「学んで、すぐ試す」サイクルが叡啓大学の真価。

余村 叡啓大学の最大の魅力は、学んだ内容をすぐ実践の場で試せるサイクルがあることです。私は2年生から、体験・実践プログラム(国内)を通じて小笠原諸島の企業で長期インターンに参加しました。森林のカーボンクレジット事業に関わったり、現地の高校生にワールドカフェ形式で授業を提供したり。授業で学んだファシリテーションの理論が、その場で

「教える側」として生きていく実感がありました。

青木 それはすごい経験ですね。僕は体験・実践プログラム(海外)でフィリピンへ渡り、現地の学校で日本語を教えました。虫の入った水で体を洗い、蟻が這うベッドで眠

る生活。朝から晩まで教会で祈りを捧げる人々の暮らしを共にするなかで、自分が当たり前としてきた価値観が大きく揺さぶられました。

余村 キャンパスでは絶対に得られない学びですね。

青木 生徒から1時間以上サインを求められた日もあり、「人と向き合う」とは何かを身をもって学んだ3週間でした。先生方や仲間と支え合い、協働して困難を乗り越えることの意義を深く学びました。

余村 学外に出ることで、世界の見え方そのものが変わったんですね。

青木 はい。1年生で参加したイブニングラウンジで広島の起業家の方々と出会い、「起業は手段で、本当に変えたい世界があるからやるんだ」という姿勢に触れたことも、いまの進路観の原点です。

余村 体験・実践プログラム、イブニングラウンジ、課題解決演習(PBL)——叡啓大学は社会とつながる学びの窓口が広いですよ。

英語、留学、卒業プロジェクト——学びの集大成へ。

余村 半年間のIEP(英語集中プログラム)で英語力を磨き、卒業単位の半分以上を英語で取得できる環境も叡啓大学ならではの強みです。私もこの夏からフィンランドへ交換留学し、林業とインターナショナル・ビジネスを学んできます。

青木 いいですね、楽しみです。4年間の集大成として、1年間かけて取り組む卒業プロジェクトもあります。自分の問いに真っ直ぐ向き合い、それを社会に結びつけていく学びは、叡啓大学ならではの感覚です。

余村 入学時と3年生の現在とでは、見える景色も扱えるテーマの幅もまったく違います。叡啓大学の4年間は、自分の可能性を確実に押し広げてくれる時間だと感じています。

青木 本当に。叡啓大学では、自分が本当に向き合いたいテーマを見つけ、それを社会の課題解決につなげながら学んでいけます。受験生の皆さんも、ぜひこの4年間で、自分の未来を切り拓く力を身につけてください。



ソーシャルシステムデザイン学科4年

青木 一真さん

AOKI Kazuma

広島県(修道高等学校)出身

ソーシャルシステムデザイン学科3年

余村 万里愛さん

YOMURA Maria

島根県(島根県立隠岐島前高等学校)出身

PROFILE

広島県出身

修道高等学校を卒業後、海外留学を経て2023年に叡啓大学へ入学。在学中は起業家コミュニティでの活動などに挑戦し、ビジネスコンテストでは受賞も果たした。卒業後は商社への入社が決まっている。

PROFILE

島根県出身

地域創生と探究学習で知られる隠岐島前高校へ「島留学」し、アクティブ・ラーニングを通して学びを深める。さらに主体的に学べる環境を求めて叡啓大学へ入学。今年はフィンランドへ交換留学予定。

叡啓大学の4つの特長

Feature

01

5つのコンピテンシー

Five Competencies

社会で新たな価値を創り出すために必要な資質(5つのコンピテンシー)を身につけた、未来を描き、つくり出せる人材となる。



Feature

03

社会とのつながり

Collaboration with Society

正課内外で実社会と関わる体験が圧倒的。社会を知り、経験を積み、人とつながる機会がある。



Feature

02

多様性のための英語

English for Diversity

実践的な英語を身につけ、多様な価値観を理解できる人になる。



Feature

04

クエスト探究のためのサポート

Support for Quests

あなたが関心のある社会での課題について、自由に探究や解決への実践ができ、あなたの力を引き出すサポートがある。





愛知県公立大学法人
愛啓大学

Philosophy

理念

「自らが将来のありたい社会を創ること」、そのために、「自らが課題を発見し、解決策を立案し、他者と協働しながら、リーダーシップを発揮し、実行することを通じて、新たな社会価値を生み出すこと」を理念としています。

Profile

学長 有信 睦弘

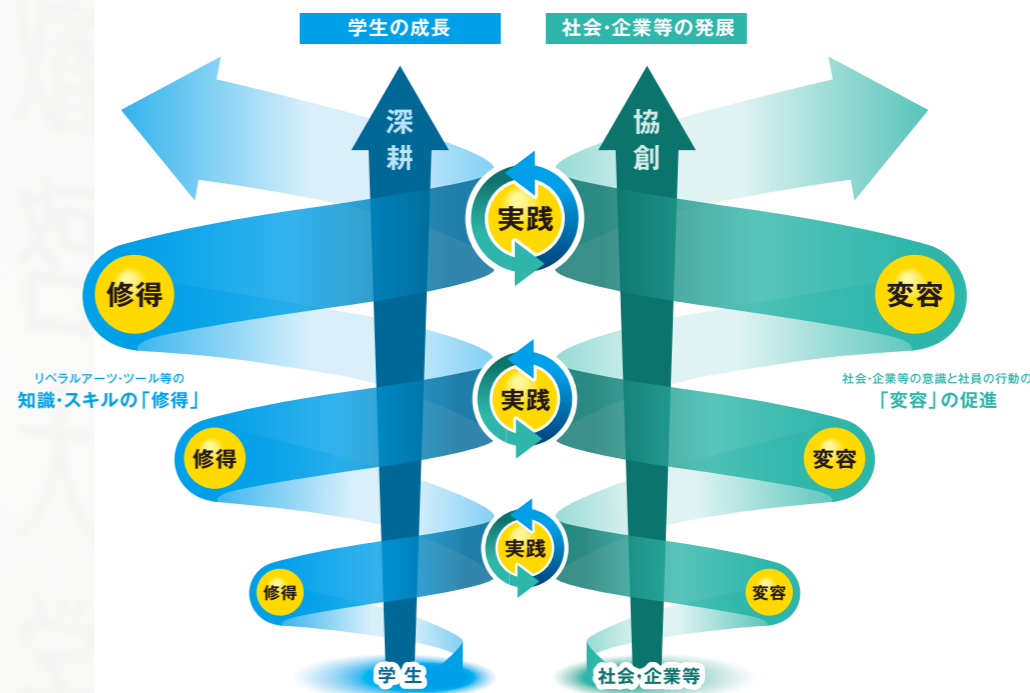
ARINOBU Mutsuhiro

[経歴]1976年東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻博士課程修了(工学博士)。東京芝浦電気株式会社(現・株式会社東芝)研究開発センター所長、執行役常務などを経て、2009年に横浜国立大学理事、10年に東京大学監事、14年に理化学研究所理事。18年4月から東京大学執行役・副学長(2021年3月まで)。文部科学省中央教育審議会委員、同大学院部会部会長、同大学分科会将来構想部会委員を歴任、日本技術者教育認定機構(JABEE)顧問などを務める。

深耕と協創のスパイラル(ダブルスパイラル)

コンピテンシー育成 ⇔ 社会課題の解決

「深耕と協創のスパイラル」を愛啓大学が提供することで、学生及び社会・企業等が相互に作用し、双方が成長や発展を加速させることができ、双方にプラスとなる相乗効果を生む。



【学び】のスパイラル

学生が多様な知識・スキルの「修得」と、それを活かして実際に社会課題の解決に取り組む「実践」のサイクルを何度も繰り返す(深耕)ことで、成長を目指す。

【課題対応・価値創造】のスパイラル

社会・企業等が直面する課題を大学との連携で見つめ直し、整理する(「実践」)ことで、新たな視点や解決策を持つことができ、企業等の行動をさらに大きく「変容」させる。このサイクルを何度も繰り返す(協創)ことで社会・企業等が発展していくことを目指す。

Message

学長メッセージ

国際情勢が混迷を深め、先行き不透明な時代の中で、経済の重心は有形資産から、データや知的財産、そしてAI等を基盤とした無形資産経済へとシフトしています。これまでの成功体験が通用しない、新しい時代の到来です。生成AIは過去の膨大なデータに基づいた答を提示してくれますが、過去を未来へとつなぐには人間の「叡智」が必要です。

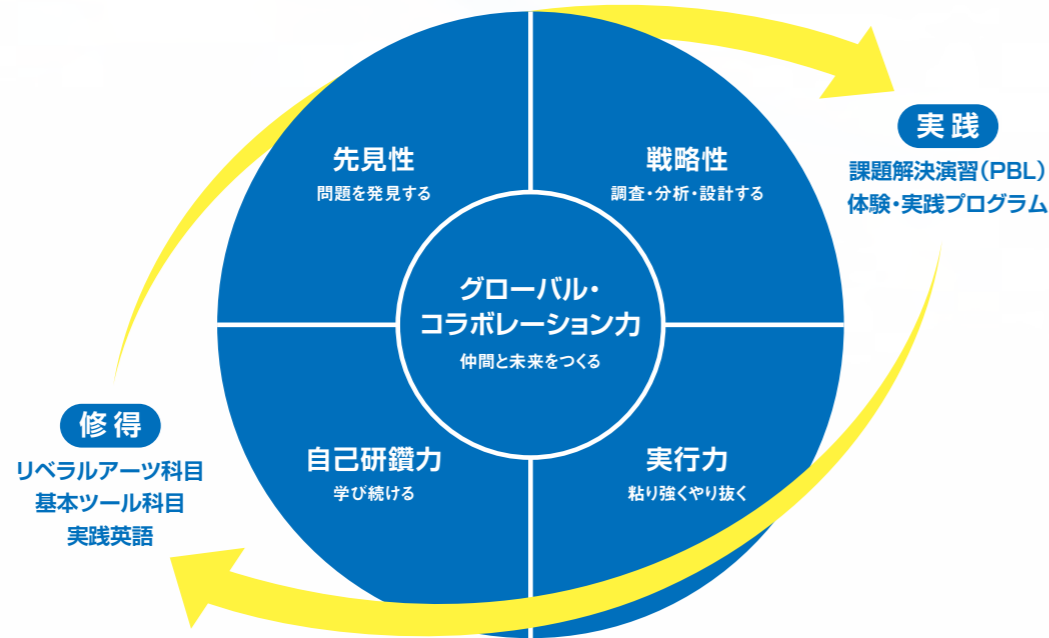
我が国の急速な人口減少の中で、豊かな未来を築くには個々人が生み出す価値を飛躍的に高めていかなければなりません。イノベーションが渴望される所以です。イノベーションの本質は「新結合」、すなわち多様な知識や発想が未知の形で結びつくことにあります。本学の「4人に1人が留学生」という多様性に満ちた環境で、異なる感性をぶつけ合い、共に新しい夢を描くことこそが、変革の源泉となるのです。

愛啓大学では、社会の全体像を俯瞰する知識と、自らの夢を描きそれを実現するためのスキルを身に付け、社会の実課題に挑戦する中で、それらを役立てる力を体得します。この学びと実践、そして大学と社会が相互に高め合うダブルスパイラルの歩みを通じて、皆さんが確かなコンピテンシーを確立し、次代を牽引する未来をつくる人へと成長することを心から願っています。

社会の課題を発見し、新

ソーシャルシステムデザイン学部

社会を変える5つの力。叡啓大学で育むコンピテンシー



副学長・学部長・特任教授
石川 雅紀
ISHIKAWA Masanobu

東京大学大学院工学系研究科化学工学専攻(工学博士)。東京水産大学助教授、神戸大学大学院経済学研究科教授を経て2021年から叡啓大学 特任教授。環境経済学。神戸大学名誉教授。2006年NPOごみじゃばん設立。環境省、経産省、農水省、消費者庁などの審議会委員などを歴任。研究テーマはプラスチックごみ問題、食品ロス問題など。

仲間と一緒に未来を創ろう

未来は、誰かが用意してくれるものではありません。自ら問いを立て、仲間と協働しながら行動し、創っていくものです。叡啓大学ソーシャルシステムデザイン学部は、その挑戦を本気で行う場所です。今の社会には、環境問題、人口減少、地域の衰退、食品ロス、プラスチック問題、多文化共生など、簡単には答えの出ない課題が数多くあります。こうした時代に必要なのは、知識を覚える力だけではありません。課題を発見し、多様な人と協働しながら、新しい解決策を考え、最後までやり抜く力です。叡啓大学では、「グローバル・コラボレーション力」「先見性」「戦略性」「実行力」「自己研鑽力」という5つのコンピテンシーを重視しています。社会の変化を読み取り、本質的な課題を発見し、多様な人と協働しながら、新しい価値を創り出す力を育てることを目指しています。

そのため、本学ではアクティブ・ラーニングを全ての授業で重視しています。教員が一方向的に話すだけではなく、対話やグループワーク、フィールドワークなどを通して、自ら考え、行動し、仲間と学び合います。さらに、課題解決演習(PBL)や海外・国内の体験・実践プログラムでは、企業、行政、NPO、国際機関などと協働しながら、実社会の課題に挑戦します。私はこれまで、環境問題や食品ロス、プラスチック問題など、社会課題の解決を目指して研究してきました。その中で強く感じてきたのは、「社会を変えるのは、挑戦する人である」ということです。叡啓大学には、未来を変えたいという思いを持つ学生が集まっています。皆さんも、未来を創る仲間とともに、新しい社会への挑戦を始めてみませんか。

たな価値をデザインする。

ソーシャルシステムデザイン学科

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成方針)

知識・スキルの「修得」と「実践」で構成するカリキュラム体系

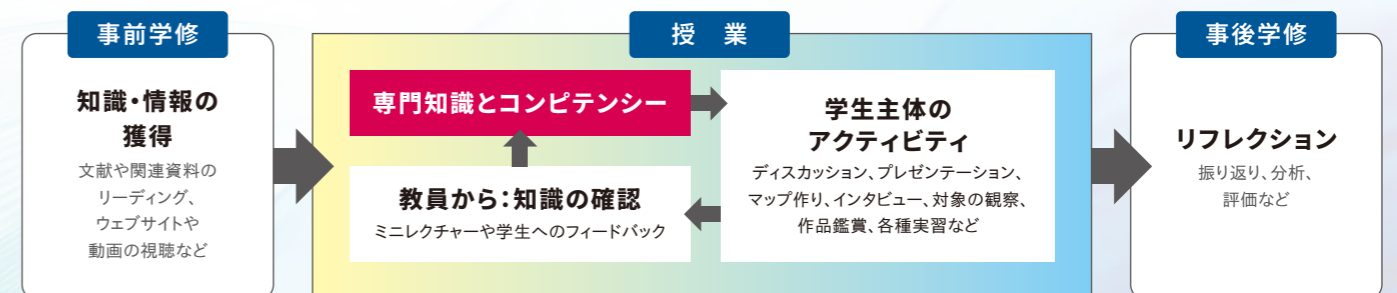
本学の教育課程は、卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に定めるコンピテンシー(資質・能力)の育成を目的としています。大学での学びの基礎を形成する「基礎学修科目」から始まり、「リベラルアーツ科目」・「基本ツール科目」・「実践英語」によって知識・スキルの「修得」を図るとともに、「課題解決演習」・「体験・実践プログラム」を通じて、知識・スキルを「実践」へと発展させ、「修得」と「実践」のサイクルを何度も繰り返し、学生は成長を目指します。学生一人ひとりの課題意識や学修状況に応じて体系的に履修することで、学士力を培うカリキュラム体系とします。



3つのポリシーについて、詳しくはこちらから



アクティブ・ラーニング すべての科目と授業で学生参加を促す授業スタイル



1クラス30人程度の少人数教育

学生一人ひとりにより応じた指導を行うため、原則として1クラス30人程度で授業を実施します。
※英語集中プログラムは1クラス16人程度です。

主体的に学べる100分授業

教員による一方向的な講義は最大で20%程度を目安とします。学生同士の対話やグループディスカッション、質疑応答の時間を多く確保します。

2コマ連続授業だから集中して取り組める

1コマ100分の授業を2コマ連続で行うことで、同時期に並行して履修する科目が少なくなり、ひとつの授業に集中して取り組むことができます。

アクティブ・ラーニングについて、詳しくはこちらから >>>



修得と実践の 「基礎」 Foundation



知識・スキルの 「修得」 Academic Input

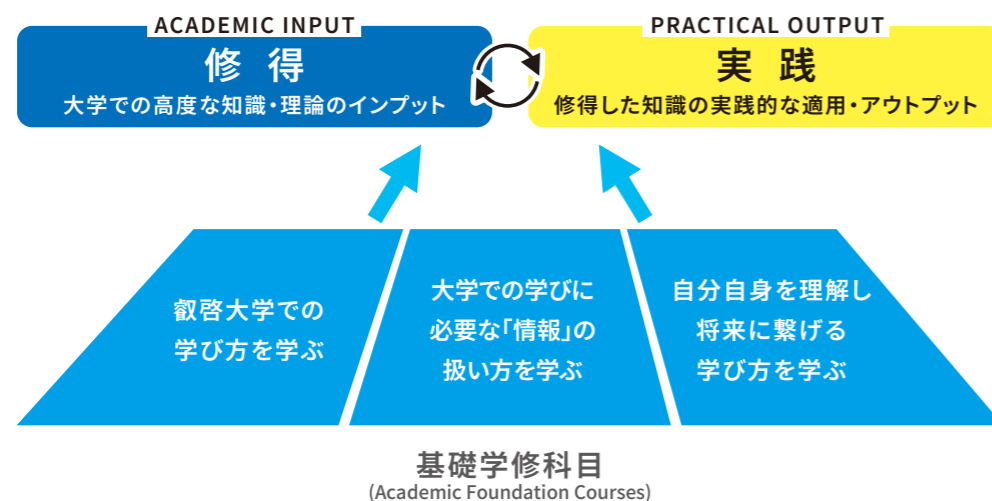


基礎学修科目 Academic Foundation Courses

「基礎学修科目」は、叡啓大学における「修得」と「実践」による学びへと円滑に移行するための必修科目です。学びの意義や方法について理解を深めるとともに、主体的に学修に取り組む姿勢を身に付けます。5つのコンピテンシーへの理解を深め、自らの課題や取組について他者との対話や意見交換を重ねながら、アクティブ・ラーニングを実践することで、学生と教職員が互いに支え合いながら学ぶ学修コミュニティの形成を目指します。



基礎学修科目から『修得』と『実践』へ:大学での学びの準備と展開マップ




実践英語 英語のシャワーに触れる日常で「グローバル」な人材に

コミュニケーション力を駆使して異なる文化・価値観などを有する人と協働し、グローバルに活躍できる力を養うため、実践的な英語を学修します。また、海外から積極的に留学生を受け入れ、キャンパスのグローバル化を推進しています。


1 英語集中プログラム
1年間

英語で授業を受けられるレベルに達するよう、1年間をかけて「Intensive English Program (英語集中プログラム)」を実施します。少人数にクラスを編成し、英語での科目履修に必要な総合的な英語力を鍛えます。また、正課と連動したTOEFL対策コースを開講し、スコアアップにもつなげます。




2 英語での単位修得
62単位以上

卒業に必要な124単位のうち、62単位以上は英語で単位を修得することが要件となります。一部の科目(留学生を対象とした日本語の授業)を除き、同一科目を英語と日本語両方で開講するため、すべての科目を英語により履修し卒業することができます。



3 留学生
4人に1人以上

1学年100人のうちの30人程度の留学生に加え、交換留学などにより滞在する海外大学の学生を含めると4人に1人以上は外国人学生となるよう、キャンパスのグローバル化を推進しています。様々な文化的背景や価値観を持つ留学生と日頃から英語でコミュニケーションを取ることで、多様性を尊重する国際感覚を身につけます。



デジタルスキルや思考力の向上 デジタル社会に必要なスキルを身につける

IoTやAIなどが注目されるなか、本学でも、ICTおよびデータサイエンス、ロジカルシンキング、デザイン思考、システム思考など、今後の社会で必要とされるスキルの修得を目指します。

Pick up授業

大学での学びと学問分野の基礎

叡啓大学での学びを充実したものとするため、「大学での学びはそれまでの学びとどのように違うのか」「大学生に求められる主体的な学びとは何か」といった問いを出発点に、アクティブ・ラーニングの基本的な考え方やリベラルアーツを学ぶ意義を理解し、大学での学びに必要な基礎的な学修姿勢を身に付けます。



基本ツール科目 Basic Tool Courses

ICT・データサイエンス

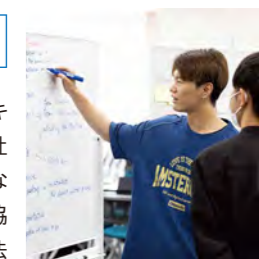
ICTやプログラミングの基礎や活用方法(デジタルリテラシー)などを理解し、課題解決や事業立案などのツールとして活用します。また、データを収集・分析して判断材料とする手法を修得し、実社会の課題に対し統合的な解決策を立案する戦略性の育成を図ります。ICTを活用する際に重要な情報倫理の学修機会も設けています。



[例] Webサイトやアプリの作成技法、分析結果を効果的に活用するための技法、IoTやAI、データサイエンスを活用する手法など

思考系

課題解決に必要な、基本的な思考のスキルである論理的思考力を養います。実社会における課題解決プロセスで必要となる、プロジェクトを進める手法や他者と協働して議論を促進し合意形成を図る方法などのスキルを修得し、実社会の課題に対し統合的な解決策を立案する戦略性を育成します。



[例] ロジカルシンキング、デザイン思考・システム思考、プロジェクトマネジメント、ファシリテーションなど

基本ツール科目について、詳しくはこちらから >>>



知識・スキルの 「修得」 Academic Input



リベラルアーツ科目 Liberal Arts Courses

叡啓大学では、リベラルアーツ教育で現代社会におけるさまざまな課題の理解に必要な知識やアプローチ方法を学び、主に「先見性」「自己研鑽力」のコンピテンシーを育成します。叡啓大学のリベラルアーツ科目は、SDGs（国連総会で採択された、持続可能な開発のための国際目標）を意識し、学びの軸としています。SDGsの17のゴールを国連が分類した5つのP（Peace平和、Partnership共創、People人間、Prosperity繁栄、Planet地球）を軸として設定し、学生が各自の興味関心に応じて、課題を見る際の視点となる「ウィンドウ」を選択し、各ウィンドウのテーマに有用な知識を学ぶことができます。（主な学問領域は、人文学関係（芸術・文学、哲学・倫理学、心理学、文化人類学）、経済学関係（経営学）、理学関係のうち環境学）



学びの軸とする5つのP

Peace（平和）とPartnership（共創）は、SDGsの17すべてのゴールに共通する方法論と位置づけ、学生全員が「基盤科目」として履修します。2年次からPeople（人間）、Prosperity（繁栄）、Planet（地球）をより具体的な課題領域「発展科目」として学びます。「発展科目」では、3つのPのうち自ら選んだ1つを中心に学びながら、興味関心に応じて他の領域の科目を履修することもできます。

発展科目

基盤科目



People 人間
アイデンティティデザイン
多文化共生社会で人々の多様性を尊重する仕組みなど、社会課題に関する知識を修得



Prosperity 繁栄
ビジネスデザイン
グローバル化する経済・社会の仕組みや、産業、技術発展などに関する知識を修得



Planet 地球
エコシステムデザイン
自然と共存しながら発展するための環境保全や生物多様性などに関する知識を修得



Peace 平和



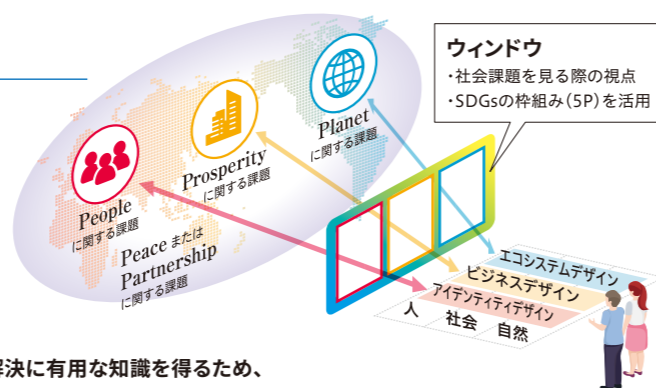
Partnership 共創

平和な社会の構築や多様な主体との協働など、課題解決を行う上での思考・判断の基盤となる知識を修得

ウィンドウの設定による学修

ソーシャルシステムデザイン → 自ら創る「ありたい社会像」

SDGsの17のゴールは、実社会における課題に対して、国際社会全体の持続可能な開発目標として設定されています。このことを念頭に置きながら、複眼的かつ多角的で、グローバルな視点から将来を見通すことができる力を養います。各自の興味関心に応じて、課題を見る際の視点となる「ウィンドウ」を選択します。各ウィンドウのテーマに有用な知識が修得できるよう、カリキュラムが構成されています。



課題解決に有用な知識を得るため、その起点となる科目を、各ウィンドウに分野横断的に配置

リベラルアーツ科目について、詳しくはこちらから >>>



Pick up授業 ~各ウィンドウでの授業例~

1 アイデンティティデザイン「多文化共生社会論」 Identity Design

グローバル化や少子高齢化などが進む現代社会では、国籍や性別、年齢やセクシュアリティ、障がいの有無や信仰などに関係なく多様な人が安心安全に暮らし、活躍できる社会を作っていく事が不可欠です。授業では、個人やコミュニティが持つ多様性とその多様性を生み出す背景を理解した上で、現代社会の中でそれらの多様性がどのような課題の原因となり、また解決の糸口となり得るかを考え、多文化共生社会の形成のために必要な視点と基礎知識を学びます。



2 ビジネスデザイン「経営戦略・組織論」 Business Design

社会課題が多様化、複雑化し、制度的な境界線を越えるようになり、企業や非営利組織も重要な役割を担う必要性が高まっています。授業では、「戦略を立てる」「組織をつくる」「人を動かす」という経営学の基本概念と理論を学ぶとともに、社会性と事業性を結び付ける戦略マネジメントについて理解を深めます。さらに、その知識を応用し、より持続可能な組織を実現するための戦略を策定することを目指します。



3 エコシステムデザイン「環境経済学」 Ecosystem Design

授業では、環境問題がどのようなメカニズムで発生し、いかに対策するかを経済学の視点から分析する体系の基礎を学びます。公共財の概念を理解し、環境の価値が市場で評価できない公共財であることが環境問題の原因である事を理解します。また、環境問題解決の手段として環境税、排出量取引、総量規制、自主協定などの政策手段の特徴を理解します。



A STUDENT'S VOICE

自分の表現で誰かの心を動かす

SDGsへの強い関心と、課題解決型のアクティブな学びを求めて叡啓大学に入学しました。リベラルアーツ科目の中でも特に印象に残っているのは「産業・ビジネスモデル論」です。レゴを用いて自分の過去や未来を表現し、グループで考えを深めていく授業です。英語で受講したことで留学生との交流が生まれ、多様な価値観や生き方に触れる貴重な機会となりました。手を動かしながら自分自身を見つめ直すことで、これからどんな未来を描きたいかが少しずつ見えてきました。今後は自分が生み出したもので誰かの心を動かすきっかけをつくる仕事を、自分らしく創っていきたいです。

ソーシャルシステムデザイン学科 4年
川原 美桜さん KAWAHARA Mio
熊本県（熊本県立人吉高等学校）出身

学内・学外での 「実践」 Practical Output



観啓大学実践教育プラットフォーム協議会

観啓大学は、修得と実践のサイクルの中に実社会で生じている課題を教育に積極的に取り入れていくことができるよう、企業や自治体、NPO、国際機関と連携するプラットフォーム(観啓大学実践教育プラットフォーム協議会)を構築しています。企業、自治体、NPO、国際機関の課題を演習テーマとして設定し、学生は解決へのプロセスを実践的に学びます。自ら考え行動に移し、答えを導き出す基礎を養えるのも、観啓大学ならではの学びです。今後、協議会との連携もさらに充実していきます。

2026年4月現在

観啓大学実践教育
プラットフォーム協議会
会員数

201

企業・団体

171

県・市町

27

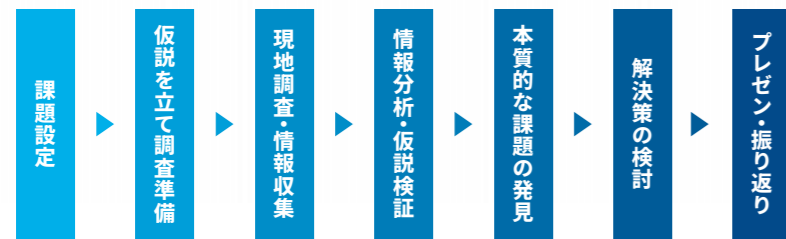
国際機関・
政府関係機関

3

課題解決演習科目 Project Based Learning (PBL) Courses

企業、自治体、NPO、国際機関が実際に直面しているリアルな問題に対して、学生がチームで挑戦する実践型の演習科目です。学生は4名程度のグループを組み、事前学修やグループワーク、現地調査などを通じて問題の背景を探究していきます。1年次では、入学直後に「ソーシャルシステムデザイン入門」および「大学での学びと学問分野の基礎」を必修で履修し、多角的な視点から物事を捉え、グループで協働して問題を検討するための基礎的な考え方・スキルを学修します。2・3年次では、「課題特定」と「課題解決」のフェーズに分け、企業などから提供された実際のテーマに取り組みます。テーマの背景を調査・分析し、課題の特定から解決策の提案までを体験的に学修し、社会で求められる実践力を育みます。

課題解決演習(PBL)の流れ



課題解決演習(PBL)の事例

事業タイプ	課題タイトル
民間企業(旅行)	旅行のインターネット予約が主流になった今、大学生が“旅行会社を使う理由”をどう再構築するか。
民間企業(自動車)	創造性を高め、多様な価値観が反映される組織づくりに向けて — DE&Iの視点から、社員一人ひとりが活躍できる環境の実現を探る —
民間企業(総合電機)	今後のaibo(アイボ)ビジネスを進めるにあたり、Z世代の興味・関心・検討層を呼び込むにはどうするか
国連機関	Fostering Cross-Cultural Community Building in Hiroshima: Empowering Non-Japanese Residents and Visitors Through Local and Global Partnerships
民間企業(旅行)	広島を訪れる観光客に、出来るだけ広島の街中を回遊してもらうための、より良い(効果的/効率的な)集客方法とは?

課題解決演習(PBL)取り組み事例

テーマ | 世界の「ものづくり」を盛り上げるための活動とは何か

クライアント:ものづくりラジオチーム様(2023・春夏Q)
平岡工業株式会社様、株式会社やまだ屋様、株式会社見祐堂様、株式会社マルニ木工様、広島エフエム放送株式会社様

ものづくり企業へのポテンシャルを感じてもらい、ものづくりの盛り上げを演出する「産学民共創型PBLワークショップ」を企画。検証を経て、テーマである世界の「ものづくり」を盛り上げるための活動を提案しました。



PARTNER VOICES

国連は、地域社会に対してより影響力のある 情報発信者となるにはどうすれば良いでしょうか？

国連訓練調査研究所(ユニタール)は、広島および中国地方における唯一の国連機関として、地域住民とのオープンで活発な対話を目指しています。私たちの目的は、国連のような国際機関が、広島をはじめとする多様な地域の人々とより深くかかわるためにはどうすべきかについて、学生たちの独自の視点から新鮮で柔軟なアイデアを探ることです。学生たちはこのテーマを深く掘り下げ、コミュニケーション上の課題だけでなく、地域レベルにおける国連の根本的な役割や認識についても問いかけました。学生たちは様々なアイデアを各自の調べに基づき提示し、私たちの視野を広げるような革新的な角度からこのテーマを探究しました。彼らの情熱、本質を見極める力、そして具体的なアイデアを提案する能力は、国連ユニタールのスタッフや地元の人々にとって、まさに刺激的なものでした。私たちは彼らの提案に大きな可能性を見出し、地域に根差した視点でグローバルな議論を形作るうえで、若者が果たし得る強力な役割を改めて認識しました。私たちは、学生の皆さまの貴重な意見を深く受け止め、あらゆるコミュニティの人々にとって国連の活動がより身近で有意義なものとなるよう、今後も努力を続けていきます。

国連訓練調査研究所 様より

「課題解決演習(PBL)」 体験学生・企業インタビュー

A STUDENT'S VOICE

本質を見抜く力で新たな価値を創造

課題解決演習(PBL)の授業を通して、課題は表面だけを見ても解決できないということを学びました。その奥には必ず本質的な問題が隠れており、構造を深く分析し核心を理解することで初めて意味のある提案ができると気づきました。仮説を立てるだけでなく、フィールドワークに出て確かめる行動力や、調査から提案までを統合的に組み立てる戦略性も鍛えられました。以前よりも「本質は何か」を常に考えるようになったことは、私にとって大きな変化です。この経験で得た先見性と実行力は、将来どんな仕事に就いても課題解決や価値創造の場面で必ず活きると確信しています。創造力を活かした企画で、人の心を動かし社会に新しい価値を届けられる人をめざしていきます。

ソーシャルシステムデザイン学科 3年
田代 朱利さん TASHIRO Shuri
大阪府(利島学園大阪立命館高等学校)出身



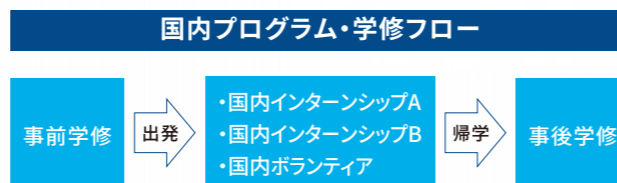
学内・学外での 「実践」 Practical Output



体験・実践プログラム Experiential / Practical Programs

体験・実践プログラム(国内) 現場体験を通じて企業や地域への理解を深める

観啓大学実践教育プラットフォーム協議会などと連携し、インターンシップやボランティア活動などに取り組むプログラムです。学生は海外で活動することを必須とし、海外プログラムと合わせて4単位以上(2科目以上)を履修します。担当教員の指導のもと、事前学修では自身が成長させたいスキルの明確化を、実習中は受入先担当者の指導を受けつつ主体的で実践的な学びを、事後学修では受入先担当者からの評価を踏まえた学びの振り返りを行い、プログラム活動の充実と学びの深化を図ります。



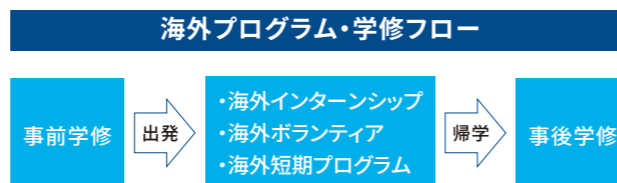
国内プログラム(2年次または3年次)

科目	内容	期間
国内インターンシップA	県内企業、市町や県の行政機関、国際機関などにおける日常業務の一端を担うことにより、積極的に社会への関心を高め、仕事に対する理解を深めます。	2週間から数か月程度 ※国内インターンシップBは4週間以上
国内インターンシップB	国内インターンシップAでは約2週間、国内インターンシップBでは約4週間の間、実習先で自身が設定する課題に取り組みます。	
国内ボランティア	非営利組織の活動支援を行っている団体の協力を得て、地域おこしや教育、外国人観光客対応などの活動に関わることで、自発的な社会貢献の経験を積みます。	

※観啓大学実践教育プラットフォーム協議会参加団体から提供された実習要項に応募し、参加する「提供型」と、自らが所定の要件を満たした実習先を提案する「持込型」があります。

体験・実践プログラム(海外) 異文化への関心を高め、多様性を学ぶ

国内外の協力機関などと連携し、海外でSDGsや課題解決に関連するインターンシップやボランティア、短期留学などに取り組むプログラムです。学生は在籍中に一度は海外での活動に参加することを必須とし、国内プログラムと合わせて4単位以上(2科目以上)を履修します。担当教員の指導のもと、事前学修、事後学修を組み込んだカリキュラムで、プログラム活動の充実と学びの深化を図ります。



海外プログラム(2年次または3年次)

科目	内容	期間
海外インターンシップ	国内外の民間企業や団体の協力を得て、海外での実務を経験することにより、異文化への関心を高め、交渉能力、協働する能力を高めます。	2週間から数か月程度
海外ボランティア	海外でのボランティアを紹介している団体の協力を得て、主に開発途上国を中心に活動するNGO/NPOにおいて、海外での支援活動に従事します。社会背景の異なる環境下での体験を通して、現地の支援活動に貢献しながら、積極的に異文化への関心を高め、多様性への理解を深めます。	
海外短期プログラム	学外協力機関や本学の海外協定校が提供する語学・文化体験コースやサマースクールなどの短期プログラムに参加します。	

※大学から5万円/月の奨学金が付与されます。

現場で広げる視野、 創造で拓く未来への道

観啓大学は、リベラルアーツを通じて分野を問わず幅広く学べる環境が魅力です。国内プログラムでは、2年生の夏に広島のプロデュース会社でインターンシップを経験しました。地域企業へのヒアリングをもとにしたスゴロク制作や、ホテルの新たな宿泊プラン提案、ビジネスアイデアコンテストへの挑戦など幅広い業務に携わる中で、ヒアリングのマナーやマーケティングの基礎を学び、現地に足を運び肌で感じることの大切さを痛感しました。将来は得意な創作活動を通じて地域の社会課題を解決し、市民が暮らしやすい社会づくりに貢献したいです。プログラムで培ったやり抜く力と協働力を活かして、一歩ずつ前進していきたいです。

ソーシャルシステムデザイン学科 3年
地藤 智湧さん JITO Towa
香川県(香川県立高瀬高等学校)出身

国内

A STUDENT'S VOICE

「体験・実践プログラム」 体験学生インタビュー

海外

挑戦することで広がる未来

フィリピンのミンダナオ島で1か月間インターンを経験し、夢を持ち挑戦することの大切さを学びました。家族と離れて暮らす子どもたちと過ごす中で、決して恵まれた環境とは言えなくとも、いつも明るく日常を全力で楽しみ、将来の夢を生き生きと語る姿に大きな刺激を受けました。現地では言語や文化の違いに戸惑う場面もありましたが、まずは自分から行動することを意識し、失敗を恐れず挑戦する姿勢が身につきました。今後はこの経験で得た主体性と向上心を活かし、一人ひとりの挑戦を支える人材育成に携わりたいと思います。

ソーシャルシステムデザイン学科 3年
宮崎 友結さん MIYAZAKI Yui
広島県(広島県立尾道東高等学校)出身



国際交流協定校一覧

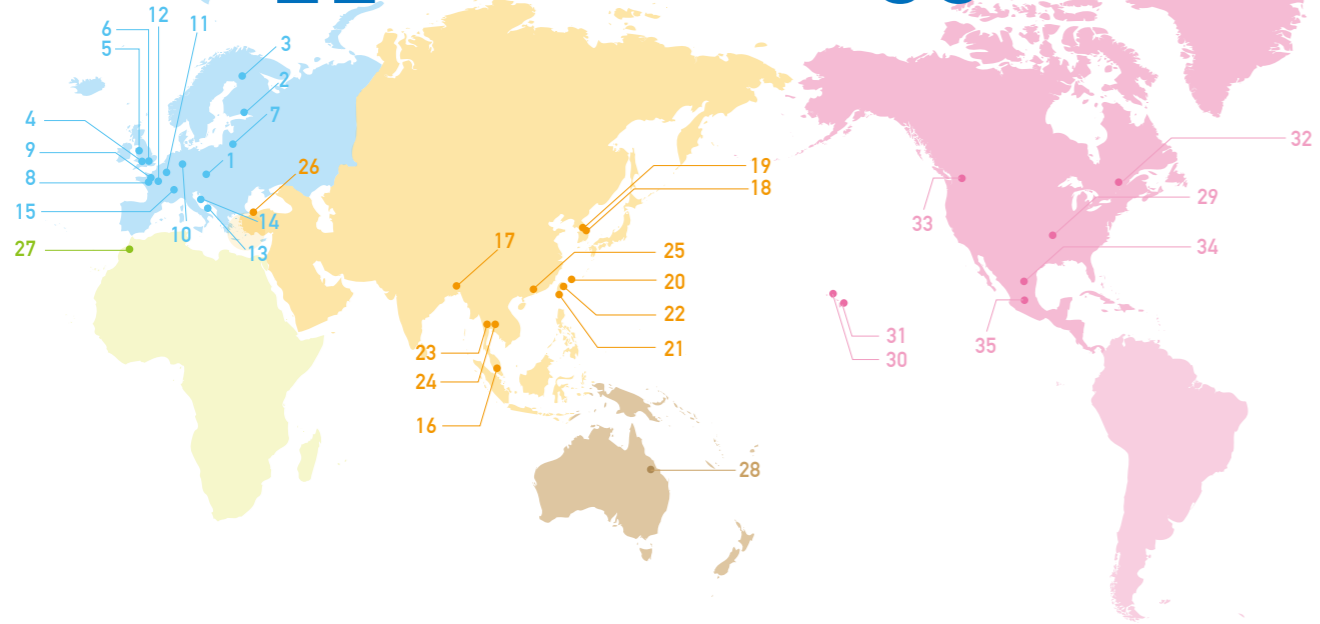
欧州	アジア	北米	中南米
チェコ メンデル大学ブルノ 1	マレーシア INTIインターナショナル大学 16	アメリカ セントラルミズーリ大学 29	メキシコ モンテレイ工科大学 34
フィンランド フィンランド南東部応用科学大学 2	バングラデシュ ダフォディル国際大学 17	ハワイ大学 マノア校 30	グアナフアト大学 35
カレリア応用科学大学 3	韓国 忠南大学校 18	ハワイ大学 ヒロ校 31	
イギリス ノーサンプトン大学 4	台湾 誠信女子大学校 19	カナダ ニューブランズウィック大学 32	
ブラッドフォード大学 5	台北市立大学 20	プリティッシュコロンビア司法大学 33	
リッチモンドアメリカン大学ロンドン 6	義守大学 21		
カウナス工科大学 7	マヒドン大学国際カレッジ 22		
フランス 情報先端技術学校 (EPITA) 8	タイ スーパーバトゥム大学 24		
パリ・カトリック学院 9	中国・香港 嶺南大学 25		
ドイツ ハイムブルン応用科学大学 10	トルコ アルティンバス大学 26		
オランダ ヴィンデスハイム応用科学大学 11	モロッコ アル・アハワイン大学 27		
ベルギー ヴィヴェス応用科学大学 12	オーストラリア ジェームスクック大学 28		
クロアチア ドゥブロブニク大学 13			
アルゲブラ大学 14			
スイス ジュネーブビジネススクール 15			

(2025年4月1日現在)

世界22か国の国や地域の35大学と、国際交流協定を締結しています。
 留学について、詳しくはこちらから



22の国と地域に広がる35の大学



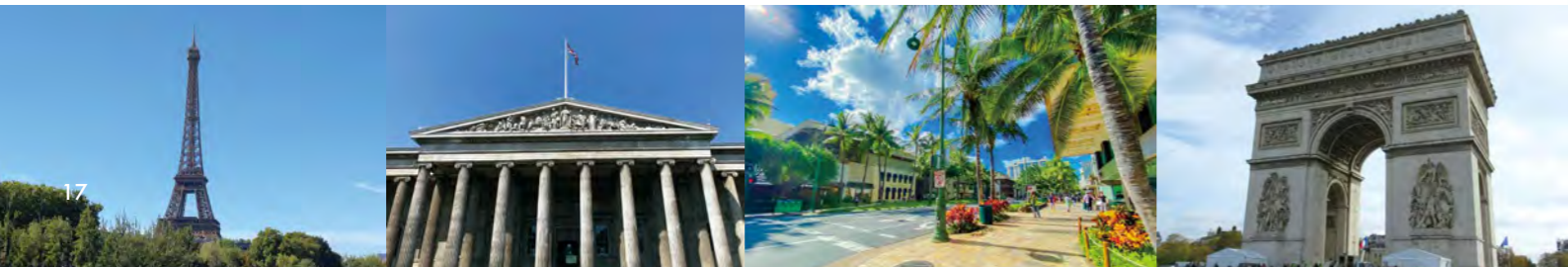
留学 Study Abroad

様々な課題を自ら乗り越える経験を積むこと、困難に直面しても最後までやり抜くことを通じて物事を実行すること、多様な文化や価値観を有する他者と協働することを目的としています。留学は本学と国際交流協定を結んだ大学への留学「交換留学」「派遣留学」と、協力機関等を通じて留学先を選ぶ「認定留学」の3通りの留学方法があります。「交換留学」では留学期間中、大学から5万円/月の奨学金が支給されます。(併給禁止等の条件がない場合に限る)

留学の種類

	窓口	期間	留学先の授業料	その他必要経費	単位認定	出発時期	行き先
交換留学	本学	3か月~1年	不要	ビザ申請料、渡航費、保険料、生活費(住居費・食費・通信費)など	本学と単位互換可能な科目を履修し、単位認定された場合に単位付与	2年次以降	協定校
派遣留学	本学		必要				22か国・地域
認定留学	協力機関 など						46大学 10か国・地域 など

※本学における学事暦上3クォーター以上、上記のいずれかの留学をする場合、卒業のために4年を越えての在学が必要となる場合があります。



一步踏み出す勇気が、私の世界を広げました。

留学先のチェコ共和国では、2年生9月から3年生6月までの約10か月間を過ごしました。慣れた環境から一步踏み出したことで、自ら行動する大切さを学び、積極的に人と関わる姿勢が身につきました。多様な文化や背景を持つ人々との関わりを通して、相手を理解する力や、自分の考えをしっかりと持つこと、コミュニケーションの大切さを実感しました。また、戦争を経験した方々と交流する機会も多く、平和に暮らせるありがたさを深く感じました。こうした経験は、自分の適性や人と協働することの大切さを見つめ直すきっかけとなり、将来のキャリア選択にも生かしていきたいと考えています。



ソーシャルシステムデザイン学科 3年
 ヴァランス 茉利さん VALLANCE Marie
 北海道(遠愛女子高等学校)出身

留学先
 チェコ共和国

A STUDENT'S VOICE

「海外留学」体験学生インタビュー

多国籍の仲間と過ごし、世界が身近になりました。

留学先
 チェコ共和国

2024年9月から約10か月間、チェコのメンデル大学に留学しました。授業や寮生活では常に多国籍の学生と関わり、文化の違いを感じる刺激的な毎日でした。「日本人」としての自分を意識する一方で、多様な価値観の中では無数の個人の一人に過ぎないことも実感しました。世界をより身近に感じるようになり、社会の一員として国際情勢や日本の出来事にも関心を持つ必要性を学びました。この留学で得た学びを糧に、これからもさまざまな人や価値観に影響を受けながら、自分の芯を持ち続けられる人へと成長していきたいと考えています。



ソーシャルシステムデザイン学科 4年
 黒田 ももこさん KURODA Momoko
 高知県(土佐塾高等学校)出身



卒業プロジェクト

Degree Project

大学での学びの

集大成

卒業プロジェクトについて、詳しくはこちらから >>>



ネパールから考えるインクルーシブ教育 ～視覚障がい児に学びの機会を～

Project
01

私は、ネパールにおける視覚障がい児へのインクルーシブ教育の在り方を検証しました。本プロジェクトは、全盲の祖父と暮らした経験から「途上国の視覚障がい者はどう学んでいるのか」という問いを抱き、社会の偏見、制度や設備の不足、当事者家族の情報アクセスの困難という3つの仮説を立てて、現地でフィールドワークに取り組んだプロジェクトです。教育機会の格差解消をめざし、視覚障がい児が当たり前で学べる仕組みづくりを研究しました。プロジェクトを通じて、現地の盲人協会の協力のもと学校観察やインタビュー調査を重ね、課題を多面的に捉える力や、相手に寄り添って本音を引き出す力が身につきました。さらに、生徒たちが「学校に通えることがうれしい」と語る姿に触れ、教育が自己肯定感を支える本質的な価値についても学ぶことができました。プロジェクトの成果として、プライマリアドバイザーにサポートしてもらいながら、現地協会に調査結果を還元し、支援の輪を広げる提案ができたことにも大きな達成感を得ています。卒業後は英国の大学院で国際教育開発を学ぶ予定で、現場で出会った人々の声を活かし、途上国の障がいのある子どもたちが当たり前で学べる社会の実現に貢献していきたいです。

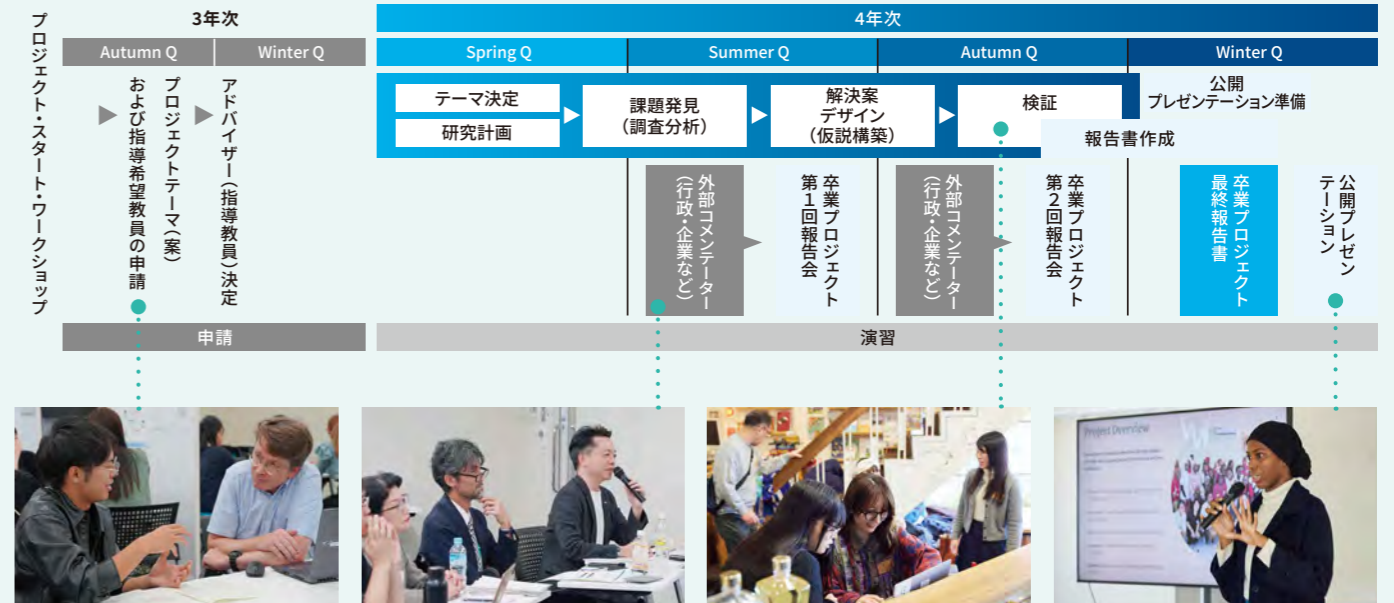


2025年度卒業(2期生)
米原 真奈さん
YONEHARA Mana



詳しくはこちらから >>>

卒業プロジェクト(全体概要)



卒業プロジェクト

大学での学びの集大成として、学生自らがテーマを設定して、課題の明確化と解決策を導き出すことを目指します。個別の卒業プロジェクトテーマに関する課題研究を、教員が伴走する演習形式で実施。6月、11月に1回ずつ行われる報告会には、外部コメンテーターとして企業・行政などのステークホルダーを招き、それぞれの課題研究に対して、新規性、実現可能性などの観点からフィードバックをもらいます。それを踏まえて報告書をまとめ、公開プレゼンテーションの場で成果を発表します。

卒業プロジェクトの3つのポイント

Point 01

学生主体の
課題解決型プロジェクト

学生自身がテーマを設定し、調査・分析を通じて課題を明確化。教員のサポートを受けながら、実践的なアプローチで解決策を導き出します。



Point 02

企業・行政との連携による
フィードバック

2回にわたる報告会では、企業や行政などの外部コメンテーターから専門的な視点でフィードバックを受け、研究の新規性や実現可能性を高めます。



Point 03

成果を社会に発信する
公開プレゼンテーション

研究成果は最終報告書としてまとめ、公開プレゼンテーションで発表。学内外のステークホルダーに向けて、自身の学びの集大成を示します。



Project
02

大学の学食からはじめる食の多様性 ～ヴィーガン常設メニュー導入への挑戦～

私は卒業プロジェクトで、叡啓大学の学食にヴィーガン常設メニューを導入する挑戦に取り組みました。私自身がヴィーガンであり、留学生が約2割に達する多様性を尊重する大学でありながら、食の多様性が置き去りにされていることに違和感を覚えたことがきっかけです。当初は「ヴィーガンメニューを導入すべき」という思いが先行していましたが、調理現場・学生利用者・企業側という3つの視点から調査を重ねる中で、自分の正しさだけで突き進むのではなく、関わる相手の立場やメリットを踏まえて提案することの大切さを学びました。試食した大豆ミートのタコライスとガパオライスは、試食会で約86.7%の学生が動物性不使用と気づかないほどの仕上がりととなり、現在は学食運営企業への提案を進めています。プロジェクトを通じて多角的な視点で物事を捉え、実現可能な形に落とし込む力が身についたことにも大きな達成感を得ています。卒業後は海外でヴィーガンレストランを開くことをめざして現地調査を続けており、将来的には子どもたちへの食育や動物の扱われ方を伝える啓発活動にも取り組み、食の多様性を広げていきたいです。



2025年度卒業(2期生)
木村 彩乃さん
KIMURA Ayano



詳しくはこちらから >>>



カリキュラム 「修得」と「実践」で構成するカリキュラム体系

		1年次	2年次	3年次	4年次
基礎	基礎学修科目	学びの意義や方法を理解する ● 大学での学びと学問分野の基礎 ● 情報リテラシーI ● 情報リテラシーII ● 主体的に学ぶための技法I ● 主体的に学ぶための技法II ● キャリア開発基礎			
	基本ツール科目	ICT・データサイエンス ■ 入門科目 基礎的なICT活用技術やプログラミングのスキルを養う ● ICT入門 ● データサイエンス概論A ● プログラミング入門 ■ 基盤科目 より複雑な課題に対応できるスキルを養う ● ウェブプログラミングとアプリ開発 ● IoT利用による問題解決 ● データ分析と統計モデリング ● データサイエンス実践論 ● AIビジネス活用論 ● 情報発信技法 ● データサイエンス概論B ● データ可視化法			
修得	思考系	■ 入門科目 課題解決に必要な基本的な思考のスキルを養う ● ロジカルシンキング ● デザイン思考・システム思考 ■ 基盤科目 プロジェクトを進める手法や議論を促進し合意形成を図る方法など、他者と協働して課題解決に取り組む上で必要となるスキルのほか、論理的に文章を構成し表現するスキルを養う ● ファシリテーション ● プロジェクトマネジメント ● 日本語アカデミックライティング			
	リベラルアーツ科目	■ 入門科目 人の多様性、社会の仕組み、自然との共存などに関する基礎的理解を養成 ■ 基盤科目 平和な社会の構築や、多様な主体との協働など、課題解決を行う上での思考・判断の基礎となる知識を修得 ■ 発展科目 縦軸として(人)(社会)(自然)を設定し、それらを横断する軸としてウィンドウを設定。学生はいずれかのウィンドウを選択して履修するが、興味関心やプロジェクトの進行状況に応じて、他のウィンドウに関わる科目も履修できる			
	People 人間	● ソーシャルシステムデザイン入門 ● 1 笑顔をなくそう ● 2 笑顔を増やそう ● 3 すべての人に健康と福祉を ● 4 思いやりもみんなに ● 5 ジェンダー平等を实践しよう ● 6 安全な水とトイレを世界中に	● 入門科目 (選択科目) ● 数学入門 ● 健康学入門 (人) ● 芸術・文学入門 ● 哲学・倫理学入門 (社会) ● 心理学概論 ● 平和論 ● 宗教と歴史 (自然) ● 環境学入門 ● 科学技術倫理入門	● 哲学・倫理学 ● 多文化共生社会論 ● メディア論 ● 日本文化論 ● 異文化論 ● 科学哲学概論 ● 公共経営論 ● 地域協働論 ● 認知科学概論 ● ヘルスケアサービス論	
	Prosperity 繁栄	● 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに ● 8 働きがいも経済成長も ● 9 産業と資源循環の課題を克服しよう ● 10 人や国の不平等をなくそう ● 11 住み続けられるまちづくりを	● 経営学概論 ● 国際協力・安全保障概論 ● 社会学概論 ● 公共芸術論 ● 社会心理学概論 ● 経営戦略・組織論 ● マーケティング論 ● 経済学 ● 社会起業家論 ● 社会経済システム論 ● 産業・ビジネスモデル論 ● バイオテクノロジー論 ● 科学技術史	● 公共芸術論 ● 社会心理学概論 ● 経営戦略・組織論 ● マーケティング論 ● 経済学 ● 社会起業家論 ● 社会経済システム論 ● 産業・ビジネスモデル論 ● バイオテクノロジー論 ● 科学技術史	
	Planet 地球	● 12 つくも責任 つかう責任 ● 13 気候変動に具体的な対策を ● 14 海の豊かさを守ろう ● 15 陸の豊かさも守ろう	● 生命倫理学概論 ● 人工知能概論 ● 数学的思考法 ● 文化人類学概論 ● フィールドワーク研究 ● 環境経済学 ● 地域活性化論 ● 開発経済学 ● 自然災害論 ● 都市環境論 ● 環境工学 ● 生物多様性論 ● 地球環境論 ● 生態学	● 文化人類学概論 ● フィールドワーク研究 ● 環境経済学 ● 地域活性化論 ● 開発経済学 ● 自然災害論 ● 都市環境論 ● 環境工学 ● 生物多様性論 ● 地球環境論 ● 生態学	
実践英語	■ 入門科目 IEP(英語集中プログラム) 授業を英語で受けられるレベルの英語力を養う ● リスニング英語・スピーキング英語I ● プレゼンテーションI ● アカデミック英語I ● リスニング英語・スピーキング英語II ● プレゼンテーションII ● アカデミック英語II ● リーディング・ライティング英語I ● 統合英語I ● リーディング・ライティング英語II ● 統合英語II ■ 基盤科目 アカデミックな英語力や時事英語など、実践的な英語力を磨く ● アカデミックリーディング ● アカデミックライティング ● カレントイングリッシュ ● プレゼンテーションイングリッシュ ● コミュニカティブイングリッシュ				
日本語 (主に留学生・初学者向け)	● 日本語I ● 日本語II	● 日本語III	● 日本語IV	● 日本語V ● 日本語VI	
実践	課題解決演習科目(PBL)	● 課題解決演習IA ● 課題解決演習IB ● 課題解決演習II			
	体験・実践プログラム	■ 国内プログラム ● 国内ボランティア ● 国内インターンシップA ● 国内インターンシップB ■ 海外プログラム ● 海外ボランティア ● 海外インターンシップ ● 海外短期プログラム			
卒業プロジェクト科目		卒業プロジェクト準備 ● 主体的に学ぶための技法I ● 主体的に学ぶための技法II		卒業プロジェクトI ● 卒業プロジェクトII	

卒業プロジェクトIII

● 持続可能な世界と私たち(SDGs)の達成に向けて

3年間の学修成果を踏まえ、学生が自ら解決すべき課題を特定し、原因究明から解決策の立案までを一貫して行います。

※基礎学修科目「主体的に学ぶための技法I」「主体的に学ぶための技法II」の修得が「卒業プロジェクト準備」の修得とみなされます。

充実した教育プログラムと学修サポート

■ **ジャンプスタートワークショップ(JSW)**
 入学直後に全員が参加するジャンプスタートワークショップでは、大学のカリキュラムや履修登録方法、学生生活で受けられるサポートや留意点を理解し、4年間の大まかな学修の流れを把握します。このワークショップで集中講義として実施する「ソーシャルシステムデザイン入門」や「基礎学修科目」で、入学者同士のチームワークや、社会課題に対する当事者意識を醸成します。


■ **ポート(港)による学生支援**

学生40人(1学年10人×4学年)程度を専門分野の異なる教員2~3人が担任する「ポート」を設け、学生を支援しています。教員2人の研究室と学生が滞在する部屋を隣接配置することで、学生が日常的に教員とコミュニケーションをとることができます。学修計画の立て方や履修科目の選択、学修方法についての指導・助言を受けやすい環境です。

■ **クォーター制**

1年を4学期に分離するクォーター制を導入。自らの履修計画に応じて海外留学やインターンシップ、ボランティアに取り組みやすくなっています。

カリキュラムについて、詳しくはこちらから >>>



教員紹介について、詳しくはこちらから >>>



多彩なキャリアを持つ教員陣

本学には、社会人経験を経て学問の道へ進んだ教員や専門分野で様々な経験をもつ教員が揃っています。

“変化の激しい時代を生き抜く学び”とは何か。

教員自身の経験や研究を踏まえて学生の皆さんに伝えるだけでなく、共に考え、実践できる場を準備します。

ソーシャルシステムデザイン学部



学科長・教授 | 調査デザイン
KAWASE Maki
川瀬 真紀
Ph.D. in Work, Community, and Family Education /
University of Minnesota



教授 | 英語
BURROWS Christian
バロウズ クリスチャン
博士 (TESOL)



講師 | 経営学
CHENG Ya-Fang
鄭 雅方 (テイ ガホウ)
博士 (商学) / 早稲田大学



准教授 | 言語学
HIGGINBOTHAM George
ヒギンボサム ジョージ
Ph.D. in Applied Linguistics /
Swansea University



講師 | 健康政策、数理モデル
KASAJIMA Megumi
笠島 めぐみ
博士 (医学) / 東京大学



准教授 | 英語教育学、教育理論
KASPAREK Nick
カスパレック ニック
M.Ed. in TESOL



准教授 | 社会学
KAYUKAWA Junji
粥川 準二
博士 (社会学)



教授 | 自然科学
LASSALLE Michael W.
ラサール ミハエル
Dr. rer. nat. In Natural Sciences /
Westfälische Wilhelms-Universität Münster, Germany



講師 | バイオデザイン、情報工学
MATSUURA Yasuyuki
松浦 康之
修士 (工学) / 広島大学



教授 | 科学技術社会論
MIZUSHIMA Nozomi
水島 希
博士 (理学) / 京都大学



教授 | データサイエンス
MORI Toshiki
森 俊樹
博士 (知識科学) / 北陸先端科学技術大学院大学
修士 (情報工学) / 東京大学
学士 (精密機械工学) / 東京大学



准教授 | 国際法
NAGAOKA Sakura
長岡 さくら
博士 (法学) / 九州大学

ソーシャルシステムデザイン学部



教授 | 社会心理学
NAKAJIMA Motohiro
中島 基宏
Ph.D. in Social Psychology /
University of Wisconsin-Milwaukee



教授 | キャリア開発、カウンセリング
OGAWA Olivia C.
小川 千里
博士 (経営学) / 神戸大学



教授 | 文学
PETKOVA Galia
ペトコヴァ ガリア
Ph.D. In Japanese studies /
SOAS, University of London



准教授 | 国際協力、ジェンダー
SEKO Motoko
瀬古 素子
Master of Science in Women's Studies
(女性学修士)



教授 | 情報通信技術
TSUCHIMOTO Yasuo
土本 康生
博士 (政策・メディア) / 慶應義塾大学



教授 | 英米文学、英語教育、異文化理解
UESUGI Yuko
上杉 裕子
博士 (学術) / 広島大学



准教授 | 哲学・倫理学
WATANABE Kazunori
渡辺 和典
博士 (哲学) / 学習院大学



教授 | 安全保障論、平和論
YASUTOMI Atsushi
安富 淳
Ph.D. in Social Sciences /
University of Leuven, Belgium

産学官連携・研究推進センター Social Design Center



産学官連携・研究推進センター長 |
地域活性化、経営学
SODA Yoshinobu
早田 吉伸
博士 (システムデザイン・マネジメント学) /
慶應義塾大学



教授 | データサイエンス、人工知能(AI)、
エネルギー管理
KAWAMURA Tsutomu
河村 勉
博士 (工学) / 九州大学



准教授 | 新規事業開発
OKAMURA Masashi
岡村 雅
B.A. in Economics /
University of California, San Diego



教授 | プロジェクトマネジメント
SADAKANE Motoi
定金 基
学士 (工学) / 岡山大学



准教授 | エリアマネジメント
YAMANAKA Yuta
山中 佑太
学士 (社会科学) / 早稲田大学

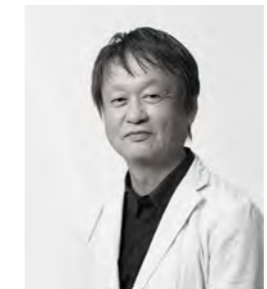
客員教授



客員教授
BEALE Alison
ピール アリソン
M.A. in Advanced Japanese Studies /
The University of Sheffield
B.A. / オックスフォード大学日本事務所代表



客員教授
FUJINO Hideto
藤野 英人
早稲田大学法学部卒業



客員教授
FUKASAWA Naoto
深澤 直人
プロダクトデザイナー /
多摩美術大学副学長 /
日本民藝館館長



客員教授
UCHIHIRA Naoshi
内平 直志
博士 (知識科学) / 北陸先端科学技術大学院大学
北陸先端科学技術大学院大学 名誉教授・特任教授
博士 (工学) / 東京工業大学



客員教授
YUZAKI Hidehiko
湯崎 英彦
MBA / Stanford University
学士 (法学) / 東京大学

キャリアサポートについて、詳しくはこちらから >>>



アントレプレナーシップ育成

叡啓大学では、起業・開業だけでなく、学生が挑戦しチャレンジする精神を育成するため、セミナー等、様々なアントレプレナーシップ育成のサポートを実施しています。

アントレプレナーシップ育成サポートの例

アントレプレナーシップセミナー

起業家の講演やトークセッションを通じて何かに挑戦することの意識を養うことを目的としたアントレプレナーシップセミナーを不定期で開催しています。

【アントレプレナーシップセミナー例】

社会課題をビジネスで解決する！ナオライの浄耐事業から学ぶ
社会課題をビジネスで解決するための起業家の挑戦についての講演とファシリテーターと学生とのトークセッション。

講師：

ナオライ株式会社
代表 三宅紘一郎様



学生プロジェクト支援制度

自分自身のプロジェクトについて学内の審査を受け、承認された場合は支援が受けられる制度「学生プロジェクト支援制度」を実施しています。

【過去の採択事例】

ナラシメミタ

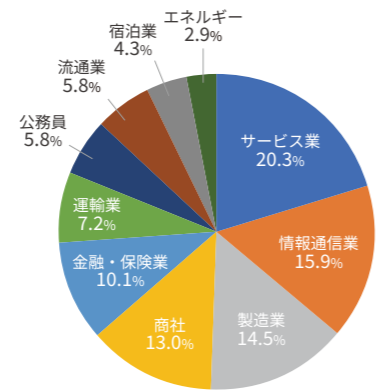
⇒地域コミュニティの活性化を目的とした音楽オーナメントの作成、演奏体験のワークショップ。



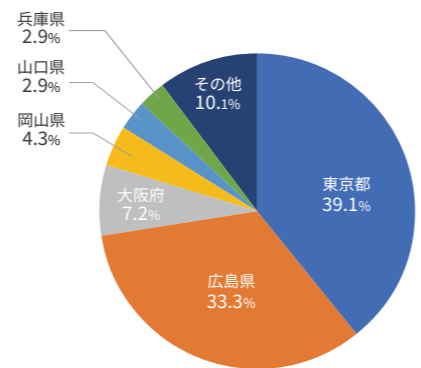
2025年4月～2026年3月卒業生 就職データ

アントレプレナーシップ育成教育や語学、AI・ICT等デジタル技術のほか、自らプロジェクトを立ち上げ、ボトルネックの特定から解決策の提案を一貫して取り組む『卒業プロジェクト』の成果もあり、外資・グローバル企業、情報・通信系、起業準備、地域おこし協力隊、海外の大学院への進学など、自身の興味のある分野を自律的に選択し、自身のキャリアをデザインした学生が多くなっています。

業種別内訳



勤務先企業の本社所在地



就職率 98.6%

※就職を希望しない学生を除いた割合

2025年4月～2026年3月卒業生 就職データ

- 主な進路**
- サービス業 / ひろぎんエリアデザイン(株)、(株)スーパーストックトーキョー、(株)ANAケータリングサービス、Qatar Airways Company Q.C.S.C.
 - 情報通信業 / (株)日立ソリューションズ西日本、リタワークス(株)、レバレジーズ(株)
 - 製造業 / (株)サタケ、(株)中電工、中電プラント(株)、(株)ヒロテック、福助工業(株)
 - 金融・保険業 / (株)中国銀行、(株)西京銀行、広島県信用組合、三井住友海上火災保険(株)
 - 商社 / 常石商事(株)、ダイワボウ情報システム(株)
 - 運輸業 / 広島電鉄(株)、近畿日本鉄道(株)、日本通運(株)
 - 公務員 / 広島県、岡山県、鹿児島県
 - 流通業 / (株)良品計画、(株)イズミ
 - 宿泊業 / (株)かいげつ、アパホテル(株)
 - エネルギー / 広島ガス(株)

進学先 サセックス大学大学院(University of Sussex)、広島大学大学院、広島市立大学大学院、同志社大学大学院

その他、起業・起業準備3名

身についたコンピテンシーで仲間と未来をつくる

卒業生インタビュー

詳しくはこちらから >>>



やってみるたびに、夢の輪郭が鮮明になった。

高校生のころから、もっと面白い教育に出会いたいという思いがありました。アクティブラーニングや探究学修を深く学べる環境を求めて、地元・大阪を離れ、広島県叡啓大学へ進学することを決めました。
入学後に特に影響を受けたのは、「システム思考」と「課題解決演習(PBL)」です。広島県廿日市市の宮浜温泉地区の活性化を考える演習では、友人と現地へ足を運び、道ゆく人に直接聞き込みをしました。物事を多角的にとらえる力と、現場で動き続ける実践力—その両輪の大切さに気づけたのが大きな財産です。不登校向けオンライン塾の事業プレゼンを耳にした際には、その理念に強く惹かれ、その場で社長に直談判してインターンに参加。先生同士のオンラインコミュニティ設計に粘り強く取り組むなかで、人を巻き込みながらプロジェクトを動かす実行力が鍛えられました。
卒業後の活動は江田島市地域おこし協力隊として、島内唯一の高校の活性化を担当します。加えて、個人活動として自ら立ち上げた団体で「逃げ場」をコンセプトにした体験プログラムやゲストハウス運営に挑みます。

江田島市地域おこし協力隊
前田 脩人さん 2025年度卒業(2期生)



予想外の学びが、具体的な目標に変えてくれた。

中学生のころからホテル業界で働くことが夢でした。それなら専門学校でもよかったかもしれませんが、でも「自分の可能性を限定したくない」という思いから、叡啓大学を選びました。
入学して驚いたのは、リベラルアーツの授業で経営戦略や組織論に強く惹かれた自分がいたことです。この予想外の出会いが、漠然としていた「ホテルで働きたい」という夢を、「経営にも携われる会社で働きたい」という具体的な目標に変えてくれました。
フィンランドへの留学では、初めての海外で前例のない状況に飛び込み、失敗を恐れず行動する力が鍛えられました。課題解決演習で学んだ物事を多角的に捉える思考法も、今の仕事で日々役立っています。
現在は星野リゾートの温泉旅館「界 雲仙」で、フロント業務から企画提案まで幅広く挑戦しています。叡啓大学で得た「未知を楽しむ力」は、社会に出てからこそ本当の武器になると実感しています。皆さんもぜひ、まだ知らない自分に出会いに来てください。

株式会社星野リゾート・マネジメント
松浦 杏奈さん 2024年度卒業(1期生)



叡啓大学での学びが、世界と働く力になった。

私は現在、米国に本社を持つ半導体関連企業の日本人で、ソリューション営業として働いています。社内外の多様なメンバーと連携しながら、お客様の課題に最適な提案を行う毎日です。
この仕事で最も活かしているのが、叡啓大学で培った「グローバル・コラボレーション力」です。課題解決演習(PBL)では、企業と連携しプラスチックごみ削減の仕組みを考えるプロジェクトに取り組みました。多様な背景を持つ仲間と協働する中で、異なる価値観を尊重しながらチームで成果を出す力が自然と身につきました。
また、先生方との距離が近いことも叡啓大学の魅力です。「安易に答えを求めず、本質的な課題を見極めることが大切」という恩師の言葉は、今も仕事の指針になっています。
大学選びに迷っている人は、自分の感性を信じてみてください。叡啓大学で出会った知識、視点、仲間は、私の人生を大きく変えてくれました。

日本シノプシス合同会社
小川 ジョナサン海晟さん 2024年度卒業(1期生)





SDC
Social Design Center

ソーシャルデザインセンターは、大学と社会が接続し共創による価値創造を推進する知と人材の創出拠点です。大学・企業・自治体など多様な主体が連携し、それぞれの知見や資源を掛け合わせることで、社会や地域が抱える課題の解決と新たな価値の創出に向けた知の創出と人材育成を目的としています。

共創プログラム

企業が抱える課題の解決や新規事業の創出に向け、企業・教員・学生が「チーム」を組んで取り組むプログラムです。

TOPICS

国内大学初！「共創プログラム」が世界的プロジェクトマネジメント協会PMI主催「PM Award 2025」で奨励賞を受賞



Client 株式会社シンギ様

紙コップの資源循環を実現する仕組みの構想

学生が現場への聞き取りから紙コップ循環を阻む「見えないコスト」を発見し、学生をハブに複数社で負担を分散する「資源循環の広島モデル」構築に挑戦。学生の行動力が事業化の推進力となり、複数団体との協働を実現しました。叡啓大学初の大学発ベンチャー「サーキュラー・ラボ・広島」を設立し、ソーシャルビジネスとして本格展開しています。



共創プログラムについて、詳しくはこちら

Client アクト中食株式会社様

米農家の後継ぎ問題を解決する新規事業の構想

学生が地元米農家や後継ぎ候補に直接聞き取りを行い、担い手不足の根本原因を発見。解決策として、親の農地の強みや将来像を見える化する新規事業「継ぐミライ診断」を提案しました。学生の行動力と柔軟な発想が現場のリアルな課題を浮き彫りにし、企業の次なる事業展開を力強く後押ししています。



ひろしま

バリューシフトプログラム



ひろしまバリューシフトプログラムとは？

都市圏の中核人材を叡啓大学の客員研究員として受入れ、広島県の未来に向け変革を進める企業とマッチングし、企業の抱える経営課題の解決に取り組むことで、地域企業の付加価値の創造と地域活性化を図る半年間の実践型リカレントプログラムです。



POINT 01

広島県で「初」となる取組

広島県内で初となる企業変革支援プログラムです。

POINT 02

叡啓大学は「社会とつながる大学」

大学というと「教室で学ぶ場所」というイメージがあるかもしれませんが、しかし叡啓大学は、地域企業・行政・社会人と直接つながりながら学びを生み出す大学です。



ひろしまバリューシフトプログラムについて、詳しくはこちら

未来を作る仲間とともに、社会の価値創造を実現するプロジェクトの紹介



プロジェクト名
キャリア教育共創プラットフォーム
— 企業社会と学校のシームレス化

デザインの視点が地域を変える

本プロジェクトは、富山県の諸産業の担い手不足という課題を背景に、若手社員と高校生が一緒に学び直せる「キャリア教育共創プラットフォーム」を築き上げています。県内のさまざまな業種の企業や高校と協力しながら共創授業を企画し、多様な働き方や職業観を伝えることで、現場と学校の学びをつなげる体験を重視しています。特に、高校生が自らの進路を主体的

に描ける機会を設けることで、より深い職業理解と共感が生まれています。さらに、教育やキャリアの専門家から助言を受けながら、再現性のある仕組みづくりにも取り組んでいます。「高校生が主体性ある進路決定を実現できる社会」を目指すこの挑戦は、参加する学生の成長だけでなく、企業や学校にも新たな気づきをもたらしています。



ソーシャルシステムデザイン学科 3年
森 佑太さん MORI Yuta
富山県(富山県立富山中野高等学校)出身

キャンパスライフ

クラブ団体が自主的に立ち上がり、自発的に活動しています。

クラブ活動

※2026年5月時点

- | | |
|--------------------------------------|--|
| サステナ部
(SASUTENA Club) | 韓国サークル 하루하루
(Korean Club 하루하루) |
| Eikei SUP | 叡啓写真部
(Eikei Photography Club) |
| 叡啓バレーボール部
(Eikei Volleyball Club) | 卓球クラブ
(Table Tennis Club) |
| 叡啓バンドクラブ
(Eikei Band Club) | 叡啓大学麻雀倶楽部
(Eikei University Mahjong Club) |
| 叡啓大学ダンス部
(Eikei Dance Club) | テーブルトップボードゲームクラブ
(Tabletop and Board Game Club) |
| 言語学習クラブ
(Language Learning Club) | 叡啓大学ソフトテニス部
(Eikei Soft-tennis Club) |
| ふれあい食堂
(Fureai Shokudo) | ちーくらぶ
(The Tea Club) |
| ニューインジャパン
(New in Japan) | イベントクラブ
(Event Club) |
| 叡啓記者倶楽部
(Eikei Journalist Club) | Juno's Kitchen |
| Eikei Football Club | |

Extracurricular Activities

仲間と一緒に、夢中になれる場所がここにあります。



叡啓大学ダンス部



ニューインジャパン



ふれあい食堂



叡啓写真部



叡啓バレーボール部

学生祭実行委員会

学生祭実行委員は、学生祭の企画・準備・運営を学生主体で行い、学生と広島県民が交流できる場を作るとともに、叡啓大学生の活躍を大学内外に広めるための活動を行っています！

Student Brand Ambassadors

学生ブランドアンバサダー

学生ブランドアンバサダーは、学生ならではの視点で叡啓大学の魅力を発信するチームです。オフィシャルグッズの企画・デザイン、SNSでの発信、オープンキャンパスの運営などを通じて、叡啓大学のリアルな魅力を多くの人に届けています。



ライフスタイル

多方面から学生が集う叡啓大学。

寮生活、一人暮らし、それぞれのキャンパスライフをご紹介します。

寮生活



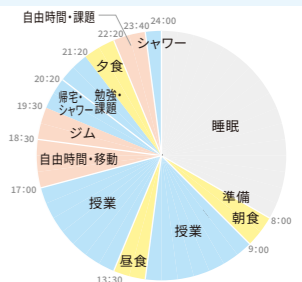
ソーシャルシステムデザイン学科 1年
ギジェルモ・パティニーニョ・ロドリゲスさん
(メキシコ出身)
Guillermo Patiño Rodríguez

■寮生の1か月支出平均

● 家賃	46,000円
● 食費	65,000円
● 光熱費	17,500円
● 交通費	2,300円
● 健康関連費	13,000円
● 学費	22,000円
合計	165,800円

■ロドリゲスさんのある1日

(00:00 - 08:00)	睡眠
(08:00 - 09:00)	起床・朝食・準備
(09:00 - 12:30)	授業
(12:30 - 13:30)	昼食
(13:30 - 17:00)	授業
(17:00 - 18:30)	自由時間・移動
(18:30 - 19:30)	ジム
(19:30 - 20:20)	帰宅・シャワー
(20:20 - 21:20)	勉強・課題
(21:20 - 22:20)	夕食
(22:20 - 23:40)	自由時間・課題
(23:40 - 24:00)	シャワー・就寝準備



Q 生活の中で工夫したことがあれば教えてください。

A 旅行系のクレジットカードで家賃以外の生活費をまとめて支払うようにしています。意識しなくても自然とマイルが貯まり、卒業旅行の航空券をすべてマイルでまかなうことが今の目標です。

Q 一日のうちで、特に好きな時間はありますか？

A 大学への通学と帰り道の時間です。散歩も兼ねているので、好きなラジオを聴きながら歩くようにしています。お気に入りの番組を聴いていると自然と気分が上がり、勉強や活動に向かうための良い気分転換になります。

Q 一人暮らしを経験して気づいたこと、学びなどあれば聞かせください。

A 想定外の出費が思ったより多いということです。特に体調を崩すと病院代がかさむので、睡眠と食事をきちんと取ることを意識するようになりました。日々の健康管理が結果的に節約にもつながると実感しています。

一人暮らし

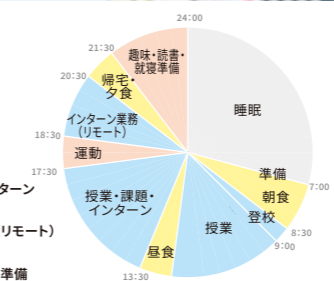
ソーシャルシステムデザイン学科 3年
久保 允治さん
広島県(広島県立三次高等学校)出身
KUBO Masayoshi

■一人暮らしの1か月支出

● 家賃	45,000円
● 光熱費	10,000円
● 食費	20,000円
● 通信費	3,000円
● 交通費	3,000円
● 趣味・交際費	20,000円
● その他雑費	5,000円
合計	106,000円

■久保さんのある1日

(00:00 - 07:00)	睡眠
(07:00 - 08:30)	朝食・登校準備
(08:30 - 09:00)	登校
(09:00 - 12:30)	授業
(12:30 - 13:30)	昼食
(13:30 - 17:30)	授業・課題・インターン
(17:30 - 18:30)	運動
(18:30 - 20:30)	インターン業務(リモート)
(20:30 - 21:30)	帰宅・夕食
(21:30 - 24:00)	趣味・読書・就寝準備

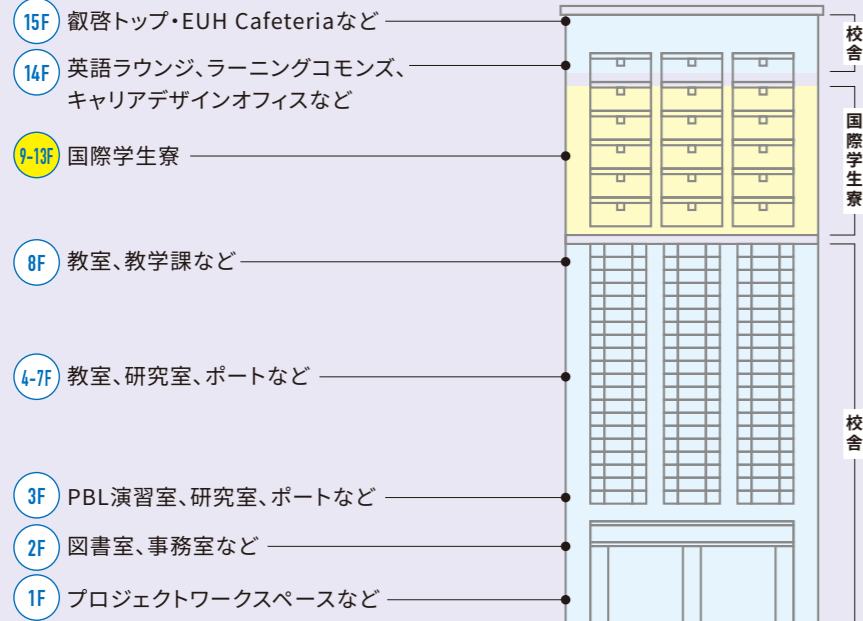


叡啓大生の1日について詳しくはこちらから



Facility 施設紹介

観啓大学校舎フロア図



プロジェクトワークスペース

「新たな社会価値を創造する共創のく場」をコンセプトに、プロジェクトワークスペース(PWS)を観啓大学実践教育プラットフォーム協議会の会員の皆様に開放しています。社会の多様なステークホルダーが交流することで、新しい社会の価値を創造するコミュニティスペースとなることを目指しています。



コミュニティcommons

学生と地域の方との交流の場として、広く開放しています。1期生が「EIKEI PIANO PROJECT」としてストリートピアノを設置したり、学生が企画したイベントを開催したりするなど、子どもから大人まで地域の多様な方々と交流を進める取り組みも行われています。

9-13F 徒歩0分の国際学生寮
学びと生活が一体化した国際学生寮は、留学生と日本人学生が共同生活を通じて、国際感覚を磨くことができます。管理人は配置されず、各フロアの学生レジデント・アシスタント(RA)、スチューデント・アシスタント(SA)が中心となり、大学教職員とも連携しながら、入居者の寮生活をサポートします。自らが寮生活の改善や向上に積極的に取り組み、国際学生寮を発展させていきます。

レジデント・アシスタント(RA)

各フロアに1名ずつ配置され、担当フロアを管理し、教職員との定期的な連携や寮生間の交流活動を行います。2LDKユニットに1人で居住しますが、ユニットスペースの一部は、他の寮生との交流活動の場として共有してもらいます。

スチューデント・アシスタント(SA)

寮生のみならず順番に役割を担う持ち回り制で、5名前後の担当グループの状況を確認し、グループの寮生が快適な生活を送れるように支援します。また、RAを補佐してフロアの交流活動も行います。

入寮対象

観啓大学の学生 ※留学生および交換留学生を優先します。

在寮期間

最長2年間

部屋タイプ (個室面積)	ルームシェア				RA 2LDK 洋室・和室 (12.1~12.5㎡)
	1R (23.55㎡)	2LDK 洋室・和室 (12.1~12.5㎡)	3LDK		
戸数	74戸	5戸	5戸		5戸
入居者数/戸	1名	2名	3名		1名
寮費(月額)シェアタイプは 1名当たりの料金	46,000円	32,500円	37,000円	32,500円	46,000円
共益費(月額)	1,000円(共有フロア電気代、Wi-Fi使用料)				

※その他、光熱費(実費)などが必要です。



Environment 周辺環境

世界に開かれた、HIROSHIMAの都市型キャンパス。



キャンパスは広島駅から
徒歩10分なので
とっても便利♪

市街地にありながら静かで、
研究や学びに最適な環境です。

まち全体がキャンパス

大学のキャンパスは15階建ての建物です。広島駅から徒歩約10分と通学における利便性が高く、市街地にありながら、静かで教育・研究に適した立地環境にあります。アクセスが良く、企業など多様な主体と連携しやすいため、質の高い学修プログラムを提供することができます。

広島市中心部に位置する 都市型キャンパスで楽しむ4年間



MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島
プロ野球チーム・広島カープ。その本拠地へは広島駅からなんと徒歩10分!



エディオンピーススイング広島
リーグ・サンフレッचे広島のホームスタジアムも本学から歩いて15分。

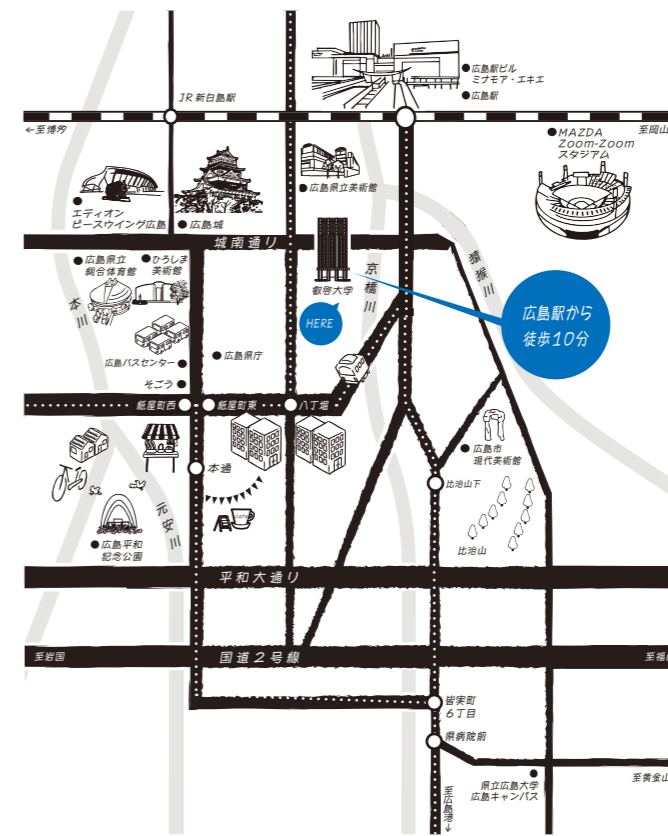


広島県立総合体育館 (広島グリーンアリーナ)
緑豊かな都市公園内の景観に調和したスポーツ施設。スポーツ大会、コンサート、各種ショーなど様々なイベントが開催されています。



本通周辺

オシャレな店が立ち並ぶ本通周辺エリア。セレクトショップや百貨店など、広島市で人気のショッピングエリアです。



市内電車

広島市内には路面電車が張り巡らされているので、どこに行くにも便利。買い物や観光におすすめです。



広島県立美術館

広島にゆかりのある作品や重要文化財、民芸品を展示しています。



広島バスセンター

都市間高速バス・県内高速バス・空港リムジンバス・郊外バスなど、広島のバスネットワークの拠点として、西日本でも有数の規模を誇るバスターミナル。



MINAMOA (ミナモア)

広島駅直結、ショッピングや食事が楽しめる新名所です。



広島市現代美術館

斬新なデザインの外観が印象的な現代美術館。国内外の現代美術作品を展示しています。



ひろしま美術館

ヨーロッパ近代名画と日本近代美術を収蔵。特に印象派のコレクションは日本屈指です。



広島駅

新幹線のぞみの停車駅でもある「広島駅」。大阪方面・福岡方面からのアクセスも大変便利です。広島駅ビルには広島のお土産・ご当地グルメが充実!駅周辺にも家電量販店や百貨店などが立ち並びます。

施設について、詳しくはこちらから >>>



